

「いしかわエンゼルプラン2015」の実施状況について(概要)

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	平成28年度の主な取組 (◎＝新規・拡充事業、○＝継続事業)	平成27年度の実績
結婚 結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援の充実		
1 出会いや結婚につながる総合的な結婚支援		
(1) 結婚支援体制の強化 (2) 若者に対する家庭・子どもを持つことの意義の啓発 (3) 結婚に関する情報提供・相談体制の充実 (4) 出会いの機会の提供	◎ 市町や企業と連携して結婚支援を推進するための体制整備(新規) いしかわ子育て支援財団を「いしかわ結婚・子育て支援財団」に改称し、財団内に「いしかわ結婚支援センター」を設置 ○ 市町や関係団体と連携した「いしかわ結婚支援推進会議」の開催 ◎ 結婚に対する意識の醸成(拡充) ・情報誌を活用し、結婚の魅力を若者へ発信(H28年度～) ・若者に結婚生活をイメージしてもらうセミナーの開催 ○ 結婚支援情報ポータルサイトの運営 ○ 「婚カフェいしかわ」による相談受付 ○ 結婚相談・出会いの機会の仲介を行う「縁結びist」による支援活動 H31までにしあわせアドバイザー「縁結びist」を500人へと倍増し、新たに500組の成婚を目指す ◎ 従業員の婚活支援に取り組む「いしかわ婚活応援企業」の認定・支援(新規) 企業内に「いしかわ企業版しあわせアドバイザー」を設置し、従業員の結婚支援に取り組む企業を「いしかわ婚活応援企業」として認定し、取組を支援 ・第1回認定書交付 H28.8 52社(団体)を認定 ・支援内容 従業員向け婚活応援ガイドブックの作成・配布、企業が開催する従業員向け婚活・ライフプラン講座への講師派遣等	⇒ H28.3開催 出席者:19市町、関係団体等 計30人 ・若者を対象としたセミナーの開催 大学生・若手社会人、高校生を対象に各1回開催(約330人参加) ⇒ H27相談件数 172件 ⇒ 「縁結びist」による成婚数 610組(H17～H28.3) ・企業を対象としたセミナーの開催 H27年11月開催 約30社(団体)参加
2 若者への就業支援	◎ 普通高校における県内先進企業と連携したキャリア教育の推進(拡充) 普通科を有する25校を対象に、各校で講話や企業訪問を実施 ◎ いしかわ就職・定住総合サポートセンターの運営(拡充) ジョブカフェ石川、女性キャリアサポート石川、UIターンサポート石川を一体的に運営 H28年度より若者・女性の職業選択の支援に加え、UIターン転職希望者の相談機能を追加 ○ インターンシップの促進 企業から学生にインターンシップを直接PRできるマッチング交流会を開催 H28.5開催 参加者1,048名 県内企業のインターンシップ参加学生数721名	⇒ 普通科を有する20校で実施(全34校中) ⇒ 若年利用者数 24,992人 うち中高生10,052人(延べ129校) 女性求職者 4,207人 ⇒ H27.5開催 参加者623名 県内企業のインターンシップ参加学生数519人

「いしかわエンゼルプラン2015」の実施状況について(概要)

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	平成28年度の主な取組 (◎=新規・拡充事業、○=継続事業)	平成27年度の取組実績
妊娠・出産 安心して子どもを産み育てるための母子の健康の確保及び増進		
1 妊娠から出産・育児に至る一貫した母子保健対策の充実		
(1) 妊婦等を支える支援体制の整備 (2) 不妊に悩む方に対する支援の充実 (3) 若者に対する妊娠・出産に関する正しい知識の普及	◎ 産後の子育て家庭への支援体制の充実(拡充) 産後ヘルパーの養成研修の実施、産後ケア施設の調査、産後の子育て家庭を訪問して育児や家事の援助を行う産後ヘルパーの派遣を行う市町に支援 ◎ 不妊治療に対する助成の充実(拡充) H28年度から、国制度による助成回数が夫婦につき6回までと制限されたことを受け、県独自で、第2子以降の出産について出産ごとに6回まで助成できる制度を創設 ○ 自分自身のライフプランについて考えるために必要な体の変化等に関する講座の開催	・ 妊娠期や出産直後のサポート状況の調査 内容: 妊娠・出産直後の不安内容、家族のサポート等 ⇒ 不妊治療に対する助成 特定不妊治療 1,108件 男性不妊治療 6件 ⇒ 大学生向け出前講座の開催 5校 参加者736名
2 周産期・小児医療体制の充実		
	○ 周産期医療体制の充実 産科医と小児科医が連携し、母子ともに一貫して対応できるよう、新県立中央病院に総合周産期母子医療センターを整備 ○ 地域病院における小児科医等のサポート体制の構築 小児科の医師等が編成する地域病院サポートチームから、常勤医・非常勤医を地域の病院に派遣	⇒ 金大附属病院の地域病院サポートチームから派遣 (小児科) 平日外来診療の支援 2病院 月に1～2回休日の当直支援 2病院
子育て 全ての子育て家庭が安心して子どもを育てることのできる環境の整備		
1 全ての子育て家庭への支援		
在宅育児家庭への支援の強化	○ 3歳未満児を持つ在宅育児家庭に対する通園に準じた保育サービスの実施 私立認定こども園のある11市町で実施 ○ マイ保育園による支援の実施 特に子育てに関する不安の多い出産前後から3歳に達するまでの間、育児の専門家の支援を受けて安心して過ごすことができるよう、マイ保育園において育児体験、一時預かり、育児相談、子育て支援プランの作成などの支援を実施	⇒ 11市町 21施設で実施 ⇒ ・マイ保育園登録率 58.3% ・子育て支援プランの作成 2,998件 ・子育て支援コーディネーターの養成 98名(累計1,351人)
2 幼児教育・保育サービスと放課後対策の充実		
	◎ 保育士の確保、資質向上に向けた研修の充実(拡充) ・福祉人材センターを「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」内に移転。ハローワークとの連携を強化し、保育士経験者をコーディネーターとして配置することにより、マッチング機能を強化 ・幼児教育の推進体制構築事業の実施 ◎ 病児保育体制の充実(新規) 病児保育が実施されていない市町において、ファミリー・サポート・センターを活用した病児保育体制を整えるため、専門研修を実施	⇒ 病児・病後児保育事業 14市町で実施

「いしかわエンゼルプラン2015」の実施状況について(概要)

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	平成28年度の主な取組 (◎=新規・拡充事業、○=継続事業)	平成27年度の実績
	○ 放課後児童クラブの充実 ・国庫補助対象とならない小規模なクラブや障害児の受け入れに応じた支援員の複数配置の支援 ・19時以降まで開所時間を延長するクラブへの人件費支援	⇒ 支援員複数配置 68か所、障害児受入促進 18か所 ・開所時間の延長 113か所
3 経済的支援の充実		
(1) 子どもの医療費助成制度の充実強化	○ 乳幼児医療費の現物給付方式の導入 15市町で実施(11月から更に1市導入予定)	⇒ 13市町で実施
(2) 多子世帯の経済的負担の軽減	◎ 多子世帯の保育料の負担軽減(拡充) 年収360万円未満の世帯について、第2子の保育料を無料化 ◎ 多子世帯の放課後児童クラブ利用料の負担軽減(新規) 子どもが3人以上いる年収360万円未満の世帯の第3子以降の子どもに係る利用料を原則無料化 ○ プレミアム・パスポート事業の推進 協賛店舗数 2,446店舗(H28.8)	⇒ H27年度から年収640万円以下の世帯について、第3子以降の保育料を無料化 ⇒ 2,412店舗(H28.3)
4 子育て支援のネットワークづくりと気運の醸成	○ 社会全体で子育てを支援するいしかわエンゼルマーク運動の推進 認定店舗数 1,285店舗(H28.8) ◎ 多世代交流拠点「しあわせのいえ」の運営支援(新規) 「食」をテーマとしたイベントや父親・祖父母世代を対象とした子育て支援講座等を通じて世代間の交流を育み、地域で子育てを支えるためのモデル事業の実施	⇒ 1,252店舗(H28.3)
5 子育てを支援する生活環境等の整備	○ 三世代での同居・近居促進のための住宅の新築や購入、増改築、改修に対する助成 14市町で実施	⇒ 12市町で実施
子育て 子どもの生きる力を育む教育の充実と環境の整備		
1 次代の親の育成		
(1) 乳幼児との触れ合いの機会の充実	○ 小学生・高校生による乳幼児との触れ合い育児体験の充実 ・子どもに赤ちゃんに継続的にふれあう機会を提供する「赤ちゃん登校日」の実施支援 ・高校生と乳幼児とのふれあい育児体験 30校で実施予定	⇒ 「赤ちゃん登校日」 2校で実施 ・高校生と乳幼児のふれあい育児体験 23校で実施
(2) 男女共同参画の推進	○ 男女共同参画啓発副読本の作成・配布	
2 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備		
(1) 確かな学力の育成	○ 「いしかわ学びの指針12か条」を踏まえた授業実践や取組の推進 「学びの12か条+(プラス)」に基づき学力向上プログラムの推進、学力向上フォーラムの開催を実施	⇒ 学力向上フォーラム(H27.10) 参加者数322名

「いしかわエンゼルプラン2015」の実施状況について(概要)

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	平成28年度の主な取組 (◎＝新規・拡充事業、○＝継続事業)	平成27年度の実績
<p>(2) 豊かな心の育成</p> <p>(3) 体力の向上と健康の増進を図る取組の推進</p>	<p>◎ 最先端分野を学ぶ授業の推進(新規) 最先端の研究等に関する化学実験・講演会の実施により、生徒の化学に対する関心を高め主体的に学習に取り組む力を育成</p> <p>◎ 高校生の「人間力」の向上(新規) 地域の第一線で活躍する人材による講義(全県立高校)、自己表現ワークショップの開催(12校)等</p> <p>○ 「いしかわ子ども自然学校」による子どもの自然体験活動の推進 個人参加型プログラム 223プログラム開催</p> <p>○ 「体力アップ1校1プラン」や「スポチャレいしかわ」による児童生徒の体力向上</p>	<p>⇒ 個人参加プログラム196プログラム 参加者延べ7,217人</p> <p>⇒ 体力アップ1校1プラン 小中高348校で実施</p> <p>⇒ スポチャレいしかわ 小学校217校で実施(国立含む)</p>
3 家庭や地域の教育力の向上		
<p>(1) 家庭教育支援の充実</p> <p>(2) 様々な体験活動の充実</p>	<p>○ 親学び支援の充実 親学び冊子の作成・配付、小中学校入学説明会等での親学び講座の開催</p> <p>◎ 「学びの態度」の育成(新規) やり抜く力、協調性、自制心等の学習面における非認知能力(「学びの態度」)を育むための家庭での取組についての啓発パンフレットを作成・配付</p> <p>◎ 子どもを対象とした文化体験事業の推進(新規) 兼六園周辺文化の森の各文化施設において、伝統芸能、伝統工芸、音楽、美術、文学、文化財保護等の文化体験事業を幅広く実施(延べ100講座以上)</p>	<p>・ 新小中学1年生の保護者を対象とした「親学び講座」の開催 県内公立全小中学校で開催</p> <p>⇒ ・子どもを対象とした伝統芸能の体験(参加者数92名) ・芸術鑑賞(オーケストラ、古典芸能等)の推進(13市町19公演)</p>
4 子どもの健全育成		
<p>(1) 放課後児童クラブの質の向上に向けた取組支援</p> <p>(2) 少年非行や犯罪被害防止のための取組の推進</p> <p>(3) インターネット等の適正利用の推進</p>	<p>○ 放課後児童クラブの充実(再掲)</p> <p>○ 非行少年の立ち直り支援、少年非行防止教室の開催 少年非行防止教室「ピュアキッズスクール」の実施</p> <p>○ スマートフォン等インターネットの適正な利用とその危険性に関する指導、啓発の実施 ・ 県内小中学生・高校生の保護者向け啓発パンフレットの作成・配付 ・ PTAを中心とした情報交換会の開催</p>	<p>⇒ 小学校低学年113校、高学年113校、中学校42校で開催</p> <p>⇒ 情報交換会 県内公立全小中学校・県立高等学校で実施</p>
5 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実		
	<p>○ スクールカウンセラー、生徒指導サポーターの配置 ・ 児童生徒・保護者・教員に対するカウンセリングを行うスクールカウンセラーの配置 ・ 学校内外での非行等の問題行動に対する指導を支援するに生徒指導サポーターの配置</p>	<p>⇒ ・スクールカウンセラー 小学校80校、中学校86校、高校17校 ・ 生徒指導サポーター 計18名配置</p>
6 食育の推進		
	<p>◎ 第3次いしかわ食育推進計画(仮称)の策定 現行計画がH28年度で終了するため、H29年度から5年間を計画期間とした新計画を策定</p> <p>○ 地域における食育推進活動の促進に向けた地域版食育推進計画の認定</p>	<p>⇒ 認定数87件(H28.3時点)</p>

「いしかわエンゼルプラン2015」の実施状況について(概要)

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	平成28年度の主な取組 (◎＝新規・拡充事業、○＝継続事業)	平成27年度の実績
7 子どもの安全の確保	○ 幼児等に対する交通安全教室の開催、交通安全指導者の養成 幼児交通安全教室の開催、幼児交通安全指導者養成研修会の実施	⇒ ・幼児交通安全教室 150回開催 参加者数12,594人 ・指導者研修 3回開催 参加者数 51人
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">子育て</div> 社会的な支援の必要性が高い子どもや家庭に対するきめ細かな支援の充実		
1 子ども虐待防止対策の充実		
(1) 虐待の未然防止	○ オレンジリボンキャンペーンによる児童虐待防止に関する意識啓発(11月) ○ マイ保育園登録制度等による子育て中の親への支援	⇒ 街頭キャンペーンの実施、ポスター・ステッカーによる啓発等 ⇒ 子育て支援コーディネーターによる子育て支援プランの作成 2,998件(再掲)
(2) 関係者が連携した虐待の早期発見・早期対応	○ 虐待を発見しやすい立場にある保育士や教員、医療関係者等に対する研修の実施 ○ 相談体制の強化 市町児童相談窓口への児童相談所OB等専門家の派遣、児童福祉サポーターによる夜間・休日の緊急対応等	⇒ 能登地区・加賀地区で各2回開催 研修参加者数 延べ251人
2 社会的養護体制の充実		
(1) 家庭的養護の推進 (2) 児童養護施設等における養育の質の向上に向けた支援	○ 里親等委託推進員による里親希望者への相談支援や里親制度普及のための集いの開催 ○ 精神科医等の児童養護施設への訪問による、対応が難しい児童の処遇改善のための指導や助言 ◎ 児童養護施設退所児童等に対する支援(拡充) 児童養護施設入所児童の自立支援のためのアドバイザーの派遣、退所児童への施設職員による訪問指導に加え、H28年度か退所児童に対する家賃や生活費の貸与制度を創設	⇒ 里親制度の普及のための集い H28.2開催 参加者数 約80名
3 ひとり親家庭等の自立支援の推進		
(1) ひとり親家庭等の自立に向けた就業支援 (2) ひとり親家庭等への生活支援	◎ ひとり親家庭の自立支援(拡充) ・就業相談、就業支援講習会の開催 ・高等職業訓練促進給付金の支給 ・職業訓練機関で就職に有利な資格取得を目指すひとり親に対する入学準備金、就職準備金の貸付制度の創設(H28年度～) ・ひとり親家庭の親の高卒認定試験の受験対策講座の受講料を助成(H28年度～) ◎ ひとり親家庭への生活・学習支援(拡充) ・低所得世帯の子どもに対する学習支援 18市町で実施 ・放課後児童クラブ終了後や長期休暇中の居場所づくり 2市で実施(H28年度～) ・ひとり親家庭の子どもの高卒認定試験の受験対策講座の受講料を助成(H28年度～)	⇒ 高等職業訓練促進給付金受給者数 54人 ⇒ 低所得世帯の子どもに対する学習支援 5市
4 障害児施策の充実等	○ 子ども一人ひとりのニーズに応じた相談体制の充実や指導、就労支援 ・発達障害支援センター等による相談支援 ・特別支援学校の地域におけるセンター的機能の充実 ・生徒の就労意欲・技術の向上・定着を目指す「いしかわ版特別支援学校技能検定の実施」	⇒ ・発達障害支援センターにおける相談支援 約4,000件 ・特別支援学校から地域の小中学校への専門相談員の派遣 約2,000回

「いしかわエンゼルプラン2015」の実施状況について(概要)

資料1

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	平成28年度の主な取組 (◎＝新規・拡充事業、○＝継続事業)	平成27年度の取組実績
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">働き方</div> 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の推進		
1 企業におけるワークライフバランスの取組促進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 企業の取組内容の向上に向けた支援(新規) <ul style="list-style-type: none"> ・企業におけるワークライフバランスの取組の実践ノウハウを具体的に記載した先進事例集の作成及び実践支援セミナーの開催 ○ 専門家によるコンサルティング <ul style="list-style-type: none"> ・専門コンサルタントの個別企業への派遣、企業合同コンサルティングの開催 ◎ 企業の男女共同参画の推進(拡充) <ul style="list-style-type: none"> ・「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」の認定、経営者や管理者層を対象とした階層別講座の開催等に加え、H28から女性活躍推進に向けた合同コンサルティングの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 専門コンサルタントの派遣 2社(延べ5回)、合同コンサルティング 3回(9社参加) ⇒ 「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」の認定 累計235社 企業における女性活躍推進セミナー 参加者数 74人 階層別講座 参加者数 5回 計95人
2 県民のワークライフバランス実現に向けた普及啓発・取組支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育休復帰支援セミナー等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・育休復帰支援セミナー 全4回シリーズで2回開催(金沢市)に加え、能登地区、加賀地区で各1回開催 ・働く母親が仕事と育児の両立に関する悩みの共有や情報交換 6回程度予定 ○ 大学生向けライフプラン・キャリアデザインセミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・5校で開催予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・育休復帰支援セミナー 全4回シリーズを2回開催(9月、2月) 参加者数 35人 ・情報交換会 3回(11月、1月、3月) 参加者数 43人 ⇒ 4校で開催 参加者数 約500人